

# まちの話題

The topic of the town



## 夏夜を飾る 都井岬火まつり

8月27日と28日の2日間、都井岬火祭りが「岬の駅」都井岬前広場で開催されました。  
ステージイベントや、都井御崎文化財愛護少年少女団による白太鼓踊りが披露されると、いよいよ祭りのクライマックス。大蛇の口に見立てた高さ30mの柱松の先端にあるツトをめがけ勢子たちが「トントコトツテエイトクボウ」という掛け声とともに、松明を次々と投げ上げました。いくつもの松明が飛び交う中、約20分で松明が見事命中。大蛇は無事退治され、色鮮やかな花火が夜空を彩りました。



## 救急について 学習しました

9月9日の「救急の日」を前にした7日、秋山小学校で串間市消防本部による救急の日イベントが開催されました。  
救急隊員による講話後、ダミー人形などを使い救急シミュレーション。救急隊員が救急車の中で実際に行う心臓マッサージなどの救命処置を演じました。その後救急車の内部も見学。初めて入る救急車に、子どもたちは興味津々の様子でした。  
最後に児童代表の山下紘香さん（4年生）が「今日の学習を生かして生活したいと思います。ありがとうございます」とお礼を述べました。



## 市木で初めての 朝市を開催

9月12日、市木地区で朝市が開催されました。主催は元氣市木づくり推進協議会。買い物に不便な市木地区の人たちに、それぞれが地元で収穫した野菜や鮮魚を購入し合う機会を設けようと、今回初めて朝市を開いたものです。  
この朝市は地域の人たちが購入しやすいように、ほとんどの品物の値段を100円としています。会長の川崎永伯さんは「朝市を通じて、市木地区全体の交流が生まれることが願いです。次は11月に開けないか検討中。これからも続けていきたいと思っています」と話していました。



## 歌と演劇のオペラを 初体験

9月16日、市木小学校にて、オペラ鑑賞会が開催されました。演目は「カルメン」。今回の鑑賞会では、市木小学校の6年生9人も参加。6年生は夏休み中に、オペラを演じるアーツ・カンパニーの方に指導を受け、本番に挑戦。第4幕で素晴らしい演技を披露してくれました。  
公演後、児童代表の山口桃佳さん（6年生）が「初めてオペラを見ました。とても楽しくて興味を持ちました。ありがとうございました」とお礼を述べたほか、出演した石戸空君（6年生）は「緊張したけど楽しかったです」と話してくれました。



## イセエビ祭り 大盛況でした

9月19日、イセエビ祭りがよかむん市とともに福島港で開催されました。当日の来場者数は約2,000人。新鮮なイセエビが1kg4,500円で販売され、多くの方がイセエビを求めて列を作っていました。  
5時半より500人限定で整理券が配布されたイセエビのみそ汁の振る舞いは、瞬く間に整理券がなくなるほどの人気ぶり。振る舞いが始まると、さっそくイセエビのみそ汁を味わおうと多くの方が詰めかけ、味を楽しんでいました。また、やまだいかんしょのやきいもも振る舞われ、多くの方が楽しんでいました。



## おしゃれな 水飲み場が完成

9月21日、串間市管工事組合青年部（中島忠志部長・7人）が金谷小学校に水飲み場を設置、寄贈しました。この活動は同青年部が毎年6月の水道週間に併せて行っているもので、今年には口蹄疫の終息宣言を待って9月の実施となりました。  
同部の部費や各自持ち寄りで材料を調達。完成した水飲み場は円筒形で蛇口がカエルの形になっていたり、低学年の児童用に踏み台が設置してあったりなどの工夫も凝らされています。早速水飲み場を利用した児童たちからは「レング造りで、すごくおしゃれ」と好評を得ていました。



## 夢を持った大人を 目指して

9月21日、福島高校で、社会に出たときの心構えなどを学んでもらおうと、キャリア教育講演会が開催されました。株式会社さんぼうの講師、廣瀬修一さんを招いて、「未来を見据える若者になろう。夢」と題し、1・2年生に向けて講演を行いました。  
廣瀬さんは、「マナーやあいさつが社会では重視されます。また今年が目標を立て努力することが自分を磨くことになるので、ぜひ実行して欲しい」と話しました。生徒代表の大隈大輝さん（2年生）が「今日のお話を目標にしたいと思います。ありがとうございます」とお礼を述べました。

